

平成 27 年度事業報告書

公益社団法人 近畿海事広報協会

当協会は、内閣府の認定を受けた公益社団法人であり、海の恩恵を始めとする海事思想の普及宣伝を行い、一般国民の海事に関する知識の啓発を図り、あわせて海事産業の発展を期することにより、平和を希求する海洋国家日本の経済社会の維持発展と国民生活の安定向上に寄与することを目的としています。

近畿運輸局をはじめ、関係機関・関係諸団体・関係業界各位並びに会員の皆様方の絶大なるご支援のお陰をもちまして、平成 27 年度の公益目的事業等を実施することができましたので、その概要をご報告申し上げます。

I、公益目的事業

1、体験活動等（公益目的事業区分 4）

（1）海の教室

四面環海で海からの恵みを受け、国民生活の基盤を海外との貿易・海上輸送に依存しているわが国では、青少年や一般市民のみなさんに海事産業や海洋について認識を深め、海に対する関心を高めてもらうことが不可欠です。

このため、青少年や一般市民のみなさまを対象に、船舶・海洋博物館・港湾・造船所などの海事関係施設の見学会や各種船舶の体験乗船会を開催し、海事産業の業務を学ぶ体験学習会として「海の教室」を近畿運輸局との共催により実施しました。

今年度は、近畿内航船員対策協議会、舞鶴海事産業協会、和歌山県海運協会、紀南海運協会、大阪府冷蔵倉庫協会等の海事・物流関係団体と連携し、次のとおり実施することができました。

1. 海事関係施設の見学会

- 7 月 3 日 串本海中公園センター見学会（和歌山県串本町）（紀南海運協会と共催）
古座川町立三尾川小学校 1～6 年生 12 名参加（教師 9 名）
- 7 月 28 日 ジャパンマリユナイテッド（株）舞鶴事業所見学会（京都府舞鶴市）（舞鶴海事産業協会と共催）
公募・子供たちと家族 9 名参加
- 10 月 2 日 串本海中公園センター見学会（和歌山県串本町）（紀南海運協会と共催）
那智勝浦町立下里小学校 5.6 年生 30 名参加（教師 2 名）

2. 各種船舶の体験乗船会

- 7 月 9 日 紀の松島観光船体験乗船会、くじらの博物館見学会（和歌山県那智勝浦町・太地町）（紀南海運協会と共催）
那智勝浦町立宇久井小学校 1 年生 21 名参加（教師 3 名）
- 7 月 20 日 いずみさの関空マリーナ・マリンフェスティバル、キッズボ

- ート自己操縦体験乗船会（大阪府泉佐野市）（海の駅「いづみさの関空マリーナ」他と共催）
泉佐野市在住の小学4～6年生90名参加（引率者12名）
- 7月20日 紀の松島観光船体験乗船会（和歌山県那智勝浦町）（紀南海運協会と共催）
公募小中学生とその家族28名参加
- 7月29日 神戸大学附属練習船「深江丸」体験乗船会（神戸市）（近畿内航船員対策協議会と共催）
公募工業高校生と工業高校教諭30名参加
- 10月9日 瀬峡観光船体験乗船会（和歌山県新宮市）（紀南海運協会と共催）
那智勝浦町立市野々小学校5.6年生12名参加（教師3名）
- 10月29日 サンタマリア体験乗船会、海遊館見学会（大阪市大阪港）（近畿若年内航船員確保推進協議会と共催）
大阪市立晴明丘南小学校3.4年生102名参加（教師8名）
- 10月31日 サンタマリア体験乗船会（大阪市大阪港）（近畿若年内航船員確保推進協議会と共催）
堺市立浜寺南小学校1.2.3年生24名・青年指導員9名参加（教師2名）
- 12月5日 南海フェリー体験乗船会、とくしま動物園見学会（和歌山市・徳島市）（和歌山県海運協会他と共催）
小学生とその家族24名参加（教育委員会を通じて募集）
- 3月25日 サンタマリア体験乗船会、冷蔵倉庫見学会（大阪市大阪港）（大阪府冷蔵倉庫協会と共催）
公募小学生とその家族29名参加

2、海の日・海の月間（公益目的事業区分8）

（1）「海の日」・「海の月間」関連行事広報事業

国民の祝日「海の日」を迎えるに当たり、国土交通省主唱の下、各地で実施される「海の月間」には、各関係機関のご支援並びに関係諸団体のご協力をいただき、多種多様な関連行事が行われました。

大阪地区では「大阪地区海の月間実行委員会」と連携し、各運輸支局・海事事務所所在地においても関係団体が連携し、青少年をはじめ広く一般市民の海事に対する関心を高め、海や海事産業の重要性を認識してもらうことを目的とした多彩な催しが行われました。

当協会は、公益財団法人日本海事広報協会からの受託事業である「海の日」・「海の月間」関連行事広報として、「海の日」ポスターを関係各所に配布するとともに、近畿地区で行われる各種イベントについて平成27年「海の月間」行事案内を作成し当協会ホームページや「海の時刻表（7月発行）」に掲載し、関係団体が開催する「海の日」・「海の月間」行事と連携して広報資料や海の日グッズを配布するなど、国民の祝日「海の日」（海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日）の意義を理解してもらうための広報活動を行いました。

(2) 「海の日」表彰候補者の推薦と「海の日」表彰式典・祝賀会

平成 27 年「海の日」にあたり、大阪では、7 月 22 日（水）に海遊館ホールにおいて、近畿運輸局・大阪海上保安監部の主催による海事関係功労者表彰式典が多数のご来賓のご出席をいただき盛大に行われるとともに、海遊館エントランスビルに「中学生海の絵画コンクール」と「海の写真コンクール」の上位入選作品を展示し、近畿運輸局長賞・大阪府知事賞・大阪市長賞の表彰が行われました。

引き続き、海事産業の重要性を再認識するための啓発活動として、各種関係団体のご協賛をいただき、当協会主催による「海の日祝賀会」をホテルシーガルてんぼーざん大阪において開催し、受賞者を中心に同伴家族・一般参加者（受賞者の知人等）・行政・報道・海事関係者の皆様方とともに、国民の祝日「海の日」をお祝いすることにより、海事産業の業務に精励してきた方々への感謝を表すとともに、「海の日」の意義が広く一般市民に理解され定着するよう海事広報活動を行いました。

また、舞鶴・和歌山・勝浦の運輸支局・海事事務所においても、それぞれ関係者のご出席をいただき海事関係功労者表彰式と海の日祝賀会が行われました。

当協会は、「海の日」表彰候補者の推薦について広く一般に周知するとともに、「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」の推薦と、海事関係事業の従事者として永年勤続された方々の「海事関係功労者表彰」の候補者を推薦しました。

当日、海事関係功労者表彰の栄に輝かれた方々は、いずれも多年にわたり海事関係の業務に従事され功績のあった方々であり、受賞者の内訳は、国土交通大臣表彰 12 名、近畿運輸局長表彰 73 名、海上保安庁長官表彰（感謝状）1 名、大阪海上保安監部長表彰（感謝状）8 名の方々でした。

3、表彰、コンクール（公益目的事業区分 14）

(1) 第 52 回全国中学生海の絵画コンクール

わが国は、海からの恵みを受け、国民生活の安定向上と産業活動の維持発展の基盤を、海外貿易と海上輸送に依存する四面環海の国であり、海運・造船・港湾などの海事産業の働きは極めて重要です。

このため、次代を担う中学生から「海の絵画」を募集することにより、海事に関する関心を高め、海事知識を深めてもらうことを目的に、公益財団法人日本海事広報協会からの受託事業として、国土交通省、近畿運輸局、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、（株）日本海事新聞社の後援のもとに実施しました。

本年も近畿各地の中学校・絵画教室（約 1,100 校）及び関係先に募集チラシ・ポスターや冊子「日本の海運 SHIPPINGNOW」を配布し、外航船の絵・海に関する絵を募集したところ、48 校・204 点の応募がありました。

審査は、山中卓・平井洋子両先生にお願いし、金賞 1 点（近畿運輸局長賞）、銀賞 3 点（近畿海事広報協会会長賞）、銅賞 6 点（同）、佳作 17 点（同）、特別賞 1 点（同）、外航商船賞 13 点（同）を決定し、上位入選作品については、7 月 10 日から 8 月 9 日まで、海遊館エントランスビルにおいて展示会を開催するとともに、全ての入選作品を当協会の機関紙「近畿海事広報協会たより」と

ホームページに掲載しました。

また、「海事関係功労者表彰式典」で金賞（近畿運輸局長賞）の入選作品を表彰するとともに、銀賞・銅賞・佳作・特別賞・外航商船賞の入賞者に対する賞状・賞品と参加者への参加賞を各中学校に送付しました。

金賞（近畿運輸局長賞）は、大阪市立大和川中学校3年・溝口未来さん、銀賞（近畿海事広報協会会長賞）は、甲賀市立城山中学校3年・佐藤如月さん、京都市立高野中学校3年・吉田桃さん、舞鶴市立城南中学2年・中村姫菜さんが入選されました。

また、入選作品のうち外航船を描いた作品については全国展に応募したところ、東京で行われた中央審査において、銀賞（日本海事広報協会会長賞）に松原市立松原第三中学校2年・八倉陽向さん、銅賞（日本海事広報協会会長賞）に大阪市立大和川中学校3年・溝口未来さん、特別賞（日本船主協会会長賞）に松原市立松原中学校3年・石賀大騎さん、佳作（日本海事広報協会会長賞）に、守口市立梶中学校3年・水間帆風さん、松原市立松原第二中学校3年・佐伯日陽さんが入選し、入選作品の展示会は、11月10日から12月6日まで、横浜市の日本郵船氷川丸で開催されました。

（2）第49回中学生海の作文コンクール

中学生海の絵画コンクールと同様に、次代を担う少年・少女に海や船に対する関心を深めてもらうため、近畿運輸局、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、（株）日本海事新聞社の後援を得て、本年も近畿各地の中学校約1,100校及び関係先に募集チラシを配布し、中学校生徒から、海や船などを題材とする作文を募集したところ、24校594点の応募がありました。

審査を高田文月先生（大阪文学学校講師）にお願いし、金賞1点（近畿運輸局長賞）、銀賞3点（近畿海事広報協会会長賞）、銅賞6点（同）、佳作30点（同）を決定しました。

金賞は、守山市立守山中学校2年・田野悠太さん、銀賞は、大阪市立文の里中学校3年・森新之介さん、桃山学院中学校2年・丹保美季香さん、帝塚山中学校1年・一法師佐季さんが入選されました。

上位10点の入選作品については、当協会機関紙「近畿海事広報協会たより」に掲載するとともに、全入選作品を当協会ホームページで公開し、入選者に対する賞状・賞品と参加者全員への参加賞は、各中学校に送付しました。

（3）第37回海の写真コンクール

「海の日」・「海の月間」関連行事の一つとして、海事分野への関心を深め、海事知識の啓発・向上を図るため、広く海・湖・川・魚などをテーマとした写真を、地域・年齢などは問わず全国から募集しました。

この事業は、近畿運輸局、大阪海上保安監部、大阪府、大阪市、大阪商工会議所、（公財）関西・大阪21世紀協会、（株）海遊館、（株）日本海事新聞社、（株）海事プレス社の後援のもと、大阪写真材料商業組合、（公財）海上保安協会大阪支部、大阪府港湾協会、（公社）大阪港振興協会、大阪フェリー協会、近畿旅客船協会、（一社）日本海事代理士会の協賛と大阪水上バス（株）、近江トラベル（株）、四国開発フェリー（株）、新日本海フェリー（株）、南

海フェリー（株）、阪九フェリー（株）、琵琶湖汽船（株）、（株）フェリーさんふらわあ、マルエーフェリー（株）、宮崎カーフェリー（株）、（株）名門大洋フェリーの各船社からの協力を得て実施しました。

応募数は全国各地より 384 名、1,200 点の応募があり、審査会を、笹田金吾先生（全日本写真連盟総本部理事）を中心に後援・協賛団体の代表者を交えた審査員により実施し、推薦 1・特選 2・特別賞 1・準特選 6・入選 31、計 41 点の入賞を決定しました。

推薦（近畿運輸局長賞）は脇森茂隆さん（大阪府）、特選の（大阪府知事賞）は吉村誠さん（奈良県）、（大阪市長賞）は松村光祥さん（大阪府）、特別賞（大阪海上保安監部長賞）は大社正照さん（鹿児島県）、準特選の（大阪商工会議所会頭賞）は前川敏夫さん（大阪府）、（関西・大阪 21 世紀協会理事長賞）は中野英男さん（大阪府）、（海遊館社長賞）は上田勇司さん（大阪府）、（日本海事新聞社社長賞）は井手優さん（福岡県）、（海事プレス社長賞）は松田裕次さん（宮城県）、（近畿海事広報協会会長賞）は渡邊真己さん（京都府）の方々です。

上位入選作品について、7月10日から8月9日まで、海遊館エントランスビルにおいて展示会を開催するとともに、全ての入選作品を当協会の機関紙「近畿海事広報協会たより」とホームページに掲載しました。

また、一般財団法人日本モーターボート競走会からの受託事業である「海事知識の普及事業」として、ボートレース場・ボートピアにおいて「海の写真コンクール平成 27 年入選作品展」を次のとおり開催しました。

1. 「住之江ボートレース場」
実施時期 平成 27 年 10 月 15 日～11 月 30 日
入場者数 来場者 218,069 人
2. 「琵琶湖ボートレース場」
実施時期 平成 27 年 10 月 15 日～11 月 30 日
入場者数 来場者 49,834 人
3. 「ボートピア梅田」
実施時期 平成 27 年 10 月 15 日～11 月 30 日
入場者数 来場者 302,388 人
4. 「ボートピア京都やわた」
実施時期 平成 27 年 10 月 15 日～11 月 30 日
入場者数 来場者 48,558 人

4、上記の事業区分に該当しない事業（公益目的事業区分 18）

（1）海事知識の普及事業

一般財団法人日本モーターボート競走会からの受託事業として、「海の日」・「海の月間」関連行事やボートレース場等で行われている下記イベント会場において、小中学生を中心とした児童向けの海事知識普及のための資料や海の日グッズなどの資料配布を行なうことにより、海事知識の普及事業を実施しました。

1. びわこファミリーカーニバル 2015「ペアボート試乗会」・「少年少女ゴムボート大会」における海事知識の普及事業
 実施時期 平成 27 年 7 月 26 日(日)
 実施場所 滋賀県大津市「びわこボートレース場」
 参加者数 びわこファミリーカーニバル入場者 1,450 名
2. 2015 住之江フェスティバル「ペアボート試乗会」・「ボートレースブース・選手募集ブース」における海事知識の普及事業
 実施時期 平成 27 年 11 月 15 日(日)
 実施場所 大阪府大阪市「住之江ボートレース場」
 参加者数 住之江フェスティバル入場者数 5,500 人

II、その他事業（相互扶助等の事業）

1、他団体との連携事業と海事広報宣伝物等の発行・配布

(1) 他団体との連携事業

海事関係の各種団体と積極的に連携し、次の行事の共催・協賛・後援等を行ないました。

1. 第 63 回 港まつり花火大会（和歌山 港まつり実行委員会）の協賛
2. 海の日海上安全祈願祭（大阪船主会・海上保安協会）の共催
3. 「海の日」のつどい（京都「海の日」実行委員会）の協力
4. 「海の日」記念行事（海南下津港湾振興会）の協力
5. 港まつり行事「ソフトボール、ボウリング大会等」（(財)大阪港湾福利厚生協会）の助成
6. 第 41 回マリンスクール（(株)串本海中公園センター）の後援
7. 天神祭渡御行事（大阪商工会議所）の協賛
8. 第 63 回大阪地方海事団体硬式庭球大会（大阪地方海事団体硬式庭球大会運営委員会）の後援
9. 第 42 回堺港まつり（堺港湾振興会）の協賛
10. 新年海上安全祈願祭（大阪船主会・海上保安協会）の共催

(2) 会議等

1. 平成 27 年 4 月 16 日（木） 於：大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
2. 平成 27 年 4 月 24 日（金） 於：大阪市 日本船舶職員養成協会近畿
（一財）日本船舶職員養成協会近畿第 4 回評議員会
3. 平成 27 年 5 月 13 日（水） 於：大阪市 近畿運輸局
平成 27 年度近畿若年内航船員確保推進協議会
4. 平成 27 年 5 月 18 日（月） 於：大阪市 第一大阪港ビル
（公社）大阪港振興協会監査
5. 平成 27 年 5 月 21 日（木） 於：大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
6. 平成 27 年 5 月 26 日（火） 於：大阪市 ホテル・カルてんぼーざん大阪
平成 27 年度海上保安協会大阪支部総会

7. 平成 27 年 5 月 29 日 (金) 於：大阪市 第一大阪港ビル
(公社)大阪港振興協会平成 27 年度第 1 回理事会
8. 平成 27 年 6 月 1 日 (月) 於：岸和田市 岸和田市立浪切ホール
平成 27 年度岸和田港振興協会総会
9. 平成 27 年 6 月 8 日 (月) 於：大阪市 大阪港湾労働者福祉センター
(一財)大阪港湾福利厚生協会平成 27 年度定時評議員会
10. 平成 27 年 6 月 12 日 (火) 於：貝塚市 貝塚港湾労働者福祉センター
平成 27 年度貝塚港湾振興会通常総会
11. 平成 27 年 6 月 18 日 (木) 於：大阪市 近畿運輸局
第 52 回全国中学生海の絵画コンクール審査会
12. 平成 27 年 6 月 25 日 (木) 於：大阪市 近畿運輸局
第 37 回海の写真コンクール審査会
13. 平成 27 年 6 月 23 日 (火) 於：大阪市 第一大阪港ビル
(公社)大阪港振興協会平成 27 年度定時総会
14. 平成 27 年 7 月 20 日 (祝日) 於：舞鶴市 舞鶴赤れんがパーク
「海の日」のつどい
15. 平成 27 年 7 月 22 日 (水) 於：大阪市 海遊館ホール・ホテルシーガルで
んぼーざん大阪
平成 27 年「海の日」海事関係功労者表彰式典・祝賀会
16. 平成 27 年 7 月 27 日 (月) 於：大阪市 住吉大社
平成 27 年海の日海上安全祈願祭
17. 平成 27 年 8 月 20 日 (木) 於：大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
18. 平成 27 年 9 月 11 日 (金) 於：大阪市 堂島リバーフォーラム
関西・大阪文化力会議 2015
19. 平成 27 年 9 月 16 日 (水) 於：大阪市 大阪南港フェリー埠頭
新造船「フェリーおおさかⅡ」就航披露
20. 平成 27 年 9 月 17 日 (木) 於：大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
21. 平成 27 年 10 月 5 日 (月) ～11 月 9 日 (月) 於：大阪市 大阪文学学校
第 49 回中学生海の作文コンクール審査
22. 平成 27 年 10 月 8 日 (木) 於：サントリー山崎蒸留所・新名神高速道路箕
面 I C (仮称) 工事現場
大阪港振興倶楽部会員見学会
23. 平成 27 年 10 月 15 日 (木) 於：大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
24. 平成 27 年 10 月 27 日 (火) 於：大阪市 築港高野山釋迦院
第 40 回港湾労働殉職者合同慰霊祭
25. 平成 27 年 11 月 19 日 (木) 於：大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
26. 平成 27 年 12 月 17 日 (木) 於：大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
27. 平成 28 年 1 月 7 日 (木) 於：大阪市 第一大阪港ビル

大阪港振興倶楽部新年祝賀交歓会

28. 平成 28 年 1 月 21 日 (木) 於：大阪市 住吉大社
平成 28 年新年海上安全祈願祭
29. 平成 28 年 2 月 1 日 (月) 於：大阪市 リーガロイヤルホテル
大阪商工会議所前会頭佐藤茂雄様お別れの会
30. 平成 28 年 2 月 9 日 (火) 於：大阪市 ヴィアール大阪
大阪府営港湾・大阪港共同セミナー
31. 平成 28 年 2 月 18 日 (木) 於：大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
32. 平成 28 年 3 月 7 日 (月) 於：大阪市 近畿運輸局
平成 28 年大阪地区海の月間実行委員会
33. 平成 28 年 3 月 8 日 (火) 於：大阪市 第一大阪港ビル
(公社)大阪港振興協会平成 27 年度第 3 回理事会
34. 平成 28 年 3 月 11 日 (金) 於：大阪市 第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部通常総会
35. 平成 28 年 3 月 11 日 (金) 於：大阪市 近畿運輸局
第 38 回海の写真コンクール準備会
36. 平成 28 年 3 月 24 日 (木) 於：東京都 海事センタービル
平成 27 年度全国海事広報協会事務局長会議

(3) 海事広報宣伝物等の発行・配布

海洋環境について理解を深め、海や海事産業に親しみを深めてもらうため、(公財)日本海事広報協会をはじめとする海事関係団体等で作成された冊子・パンフレットなどの海事知識普及資料や海の日グッズ等を、「海の日」・「海の月間」関連行事や各港湾の港祭りなどの各種イベント参加者に配布しました。

主な海事広報宣伝物等の発行・配布は次のとおりです。

1. 近畿海事広報協会たより (1 月・7 月の年 2 回発行)
2. 海と船の雑誌・ラメール (隔月の年 6 回配布)
3. 海上の友 (毎月 3 回配布)
4. 日本の海運 SHIPPINGNOW2015-2016 (中学校等へ配布)
5. 海と船なるほど豆事典 (各種イベント等へ配布)
6. 海の日グッズ等 (各種イベント等へ作成・配布)
7. 2016 世界の帆船カレンダー (会員・関係者へ作成・配布)

Ⅲ、庶務事項

(1) 総会

- 平成 27 年 5 月 12 日 (火) 於：大阪市 大阪弥生会館
1. 平成 26 年度事業報告及び決算の承認に関する件
 2. 役員の一部改選に関する件

(2) 理事会

① 平成 27 年 4 月 21 日 (火) 【書面による理事・監事全員の同意】

1. 平成 26 年度事業報告及び決算の承認に関する件
2. 平成 26 年度通常総会招集の承認に関する件
3. 役員の一部改選に関する件

② 平成 27 年 5 月 12 日 (火) 於：大阪市 大阪弥生会館

1. 顧問等委嘱の承認に関する件
2. 事業報告等に係る提出書の承認に関する件
3. 会員資格取得 (入会) の承認に関する件
阪神国際港湾株式会社 様
4. その他 (理事会確認事項、代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告)

③ 平成 28 年 2 月 29 日 (月) 於：大阪市 第一大阪港ビル 8 階会議室

1. 平成 28 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) の承認に関する件
2. 会員資格取得 (入会) の承認に関する件
株式会社帝国機械製作所 様
3. 顧問等委嘱の承認に関する件
4. その他 (代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告)

(3) 監査

1. 平成 27 年 4 月 7・13 日 (火・月) 於：大阪市 当協会事務所
当協会監事による平成 26 年度事業並びに収支状況の監査

平成27年度 決算報告書

公益社団法人 近畿海事広報協会

(1) 貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増 減(A-B)
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,303,995	1,496,297	-192,302
前払金	131,680	131,680	0
未収金	0	142,560	-142,560
立替金	80,000	80,000	0
流動資産合計	1,515,675	1,850,537	-334,862
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
事業特別積立資産	5,000,000	5,000,000	0
(2) その他固定資産			
事務所契約敷金	362,550	362,550	0
固定資産合計	5,362,550	5,362,550	0
資産合計	6,878,225	7,213,087	-334,862
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
前受金	100,000	0	100,000
預り金	83,064	75,260	7,804
流動負債合計	183,064	75,260	107,804
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	183,064	75,260	107,804
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	6,695,161	7,137,827	-442,666
(うち特定資産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
正味財産合計	6,695,161	7,137,827	-442,666
負債及び正味財産合計	6,878,225	7,213,087	-334,862

(注) 「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。

(2) 正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	1,800	1,377	423	
特定資産受取利息	1,800	1,377	423	
受取会費	8,760,000	8,800,000	-40,000	
普通会員	8,510,000	8,550,000	-40,000	
その他の会員	250,000	250,000	0	特別会員、賛助会員
事業収益	5,771,000	10,829,000	-5,058,000	
受託事業収益	4,061,000	9,119,000	-5,058,000	日本海事広報協会 日本モーターボート競走会
協賛金収益	1,710,000	1,710,000	0	海の日祝賀会等
受取負担金	106,800	196,000	-89,200	
受取負担金	106,800	196,000	-89,200	和歌山県海運組合等
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	171,679	160,637	11,042	
受取利息	445	503	-58	
雑収益	171,234	160,134	11,100	日本海事広報協会等
経常収益計	14,811,279	19,987,014	-5,175,735	
(2) 経常費用				
事業費	12,887,978	18,399,535	-5,511,557	
制作費	249,688	230,896	18,792	海の月間関係
イベント開催費	1,535,662	6,626,373	-5,090,711	海の日祝賀会
広報宣伝物費	938,170	413,292	524,878	海事広報資料作成・購入
表彰費	344,024	342,358	1,666	各種コンクール関係
給料手当	3,840,000	3,780,000	60,000	
臨時雇賃金	1,122,000	1,377,000	-255,000	
福利厚生費	563,941	465,146	98,795	
会議費	55,621	88,693	-33,072	
旅費交通費	381,406	386,072	-4,666	通勤費を含む
通信運搬費	443,997	485,368	-41,371	
消耗品費	481,776	331,964	149,812	
印刷製本費	696,084	650,995	45,089	
賃借料	1,593,311	2,219,396	-626,085	船賃・バス貸切・借室料等
保険料	41,018	60,728	-19,710	
諸謝金	200,000	230,000	-30,000	審査料等
支払負担金	55,500	55,000	500	共催行事等
支払助成金	335,000	635,000	-300,000	各地区海の月間行事等
雑費	10,780	21,254	-10,474	

科 目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備 考
管理費	2,365,967	2,255,829	110,138	
給料手当	660,000	660,000	0	
臨時雇賃金	396,000	281,000	115,000	
福利厚生費	140,986	116,287	24,699	
会議費	469,576	469,747	-171	総会・理事会等
旅費交通費	87,824	88,928	-1,104	通勤費等
通信運搬費	171,466	195,304	-23,838	
消耗品費	95,495	66,554	28,941	
印刷製本費	23,490	22,189	1,301	
賃借料	166,414	169,334	-2,920	借室料・共益費等
支払負担金	115,000	145,000	-30,000	各種会費等
雑費	39,716	41,486	-1,770	
経常費用計	15,253,945	20,655,364	-5,401,419	
当期経常増減額	-442,666	-668,350	225,684	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計				
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計				
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-442,666	-668,350	225,684	
一般正味財産期首残高	7,137,827	7,806,177	-668,350	
一般正味財産期末残高	6,695,161	7,137,827	-442,666	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	6,695,161	7,137,827	-442,666	

(注) 「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。